



## テントウムシのえさは何、どうやって飼うの

### アリマキを食べる

ふつうに見られるテントウムシ(ナミテントウ)とナナホシテントウは、ともにアブラムシ、正しいよび名でいえば、アリマキを食べます。

### アリマキのついた植物を、枝ごととってくる

緑色のアリマキがびっしりついた植物の、新芽や枝をよく見ると、赤いテントウムシがいっしょについていることがあります。クリーム色の卵や幼虫も、いっしょに見つかることも多いものです。卵や幼虫のついた枝ごととってくれば、すぐ飼うことができます。

テントウムシは、成虫も、幼虫も、アリマキを食べます。ですから、えさとしては、アリマキのたくさんついた植物を、枝ごと容器に入れておくだけです。アリマキの数が少なくなれば、枝ごと取りかえます。どうしても、アリマキが手に入らないときは、釣り具屋さんで、魚のえさ用に売られているハチの子や、カイコのさなぎの粉などを買ってきて、あたえるとよいでしょう。

### ジャガイモ畑で見つけたテントウムシの場合

ジャガイモや、ナスの畑などで見かけるのは、葉を食いあらずニジュウヤホシテントウなどです。このテントウムシの仲間、ナスやジャガイモの葉を食べる害虫です。飼うならば、えさの、ナスやジャガイモの葉ごと容器に入れます。

### いろいろなテントウムシ

このほかに、ミカンにつくカイガラムシを食べるベダリアテントウ、ハムシの幼虫などを食べるカメノコテントウ、葉につく「ばいきん」を食べるキイロテントウなどがいます。

(監修・中山 周平)

